

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 大内地域協議会
開 催 日 時	平成20年10月21日（月） 午後2時
開 催 場 所	大内農村環境改善センター
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	佐々木 ハツ 小松 敏博 加藤 龍一 鈴木 久雄 佐々木 多悦 佐々木 秀雄 伊藤 直子
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 佐々木理事あいさつ 4. 案 件 1) 総合発展計画主要事業（H21～H26）の見直しに係る（仮）調整について 2) 「さくら満開のまちづくり」 さくらマップ（完成版）及びグランドデザイン（素案）について 3) その他 5. その他 6. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿

(37名)

会 長	佐々木 盛三	富士盛久美子	理 事	佐々木永吉
	鈴木 郁夫	東海林 重	企画調整課長	大庭 司
	小嶋 宏	堀川 一博	総合支所	
	佐々木 政勝	東海林 長子	総合支所長	荘司 和夫
	佐々木 源治		振興課長	工藤 良
	小松 弘		建設課長	佐藤 光男
	佐々木 恭悦		教育学習課長	小助川弘高
	東海林 昇		市民課長	佐藤 光治
	鈴木 哲		福祉保健課長	佐々木良行
	金子 幸子		産業課課長	鈴木 一
	齊藤 豊		下川大内出張所長	星川 謙
	東海林スツエ		上川大内出張所長	菊地 久昭
	田口 正夫		事務局	
	伊藤 花子		主席参事	遠藤 信悦
	布施 隆子		参 事	山口 光也
	佐々木 正男		参 事	加藤 均
	小笠原 良一		参 事	堀 良隆
	吉田 千代治		主 査	真坂 輝仁

会議の経過

第2回 大内地域協議会

平成20年10月21日（月）

午後2時00分 開会

- 事務局 (参加委員が22名であり2分の1以上の出席であることを報告)
只今から第2回大内地域協議会を開催します。
会長よりあいさつをお願いします。
- 会長 (あいさつ)
- 事務局 佐々木理事よりあいさつをお願いします。
- 佐々木理事 (あいさつ及び主要事業の見直しの必要性について)
- 事務局 案件に入ります。進行を会長よりお願いします。
- 会長 案件1について。
佐々木理事から概要説明がありました。大庭企画調整課長より詳しいご説明をお願いします。
- 大庭企画調整課長 資料にそってご説明いたします。
(資料により、見直しについての基本的な考え方、仮調整率、事業の見直し
一体化事業及び消防事業の仮調整(案)について説明)
全体的な説明は以上です。
- 会長 引き続き、大内地域に関することを総合支所長からお願いします。
- 荘司総合支所長 大内地域の事業見直しについてご説明します。
(大内地域の見直し作業及び結果の概要について説明)
内容について、工藤振興課長がご説明します。
- 工藤振興課長 総合支所と本庁も含めて検討し、大内地域として工事がかなり進んでいる
簡易水道・下水道事業は計画通り進めたい。そのかわり、一般的な事業を
ある程度圧縮しなければなりません。また、各事業費や実施時期についても
検討・見直しを行いました。
(普通会計、特別会計、仮調整率、大内地域仮調整(案)等を資料に基づき

各課関連事業概要の説明)

今回、平成 26 年度までの事業の必要性和緊急性及び財源確保を検討した結果、この資料の大内地域の仮調整案となりました。

道路等の維持については、この事業計画とは別に必要に応じてやっていきます。地域の要望で県道の改修工事等が出ますが、引き続き県にお願いしていきます。この後は、皆様からのご意見ご質問がありましたら、担当課長からお答えしながら進めてまいります。

会 長 大庭企画調整課長、総合支所長、振興課長からの説明について、皆様から質問、意見ををお願いします。

A 委 員 下水道事業を今後も進めていくという話でした。環境問題等を考えると大変重要なことだ。しかし、加入促進はさらに重要なことだと考えます。

佐藤建設課長 下水道事業は、国からの補助制度を利用して実施している。こういった補助制度は事業完了時期が決まっているので先延ばしできない実情があります。加入促進について、機会あるごとに加入のお願いをしておりますし今後も続けてまいりたい。ご理解をお願いします。

A 委 員 分かりました。維持管理を考えると加入率が高いほうが望ましいと思いますので、今後も加入促進をお願いしたい。

B 委 員 下水道加入の際心配なのは、今後の下水道料金が高くなるのではないかとといった心配も要因のようです。以前からの話では（市の水道料金が統一されれば）大内地域の水道料金は下がるとうかがっている。早く下がるようにしてほしい。
また、加入金について事業終了直後の加入でなくても 20 万円でもよろしいのか伺いたい。

佐藤建設課長 おっしゃる通り、加入時に 20 万円の分担金をお願いします。

C 委 員 下水道加入は強制的に加入しなければならないのか？
場所によっては、一軒だけ離れていて工事ができない所もあるようだ。自宅では浄化槽を使用しており、下水にはまだ加入していません。

工藤振興課長 下水道工事が困難なところは、合併浄化槽を利用させていただいている。全体計画の中で住民の不公平にならないように配慮しています。

- D 委 員 流雪溝について。だんだん破損、陥没等が出来て淀みとなり特に夏場の悪臭の原因となっている。維持管理についても調査、検討していただきたい。
- 佐藤建設課長 調査させていただきます。
- C 委 員 42 番の小羽広川台線川台橋について。特に緊急性があると感じている。
- 佐藤建設課長 国の補助金を利用して早期に実施する計画です。
- 会 長 教育学習課関係の、体育施設の改修事業について伺いたい。
特に、岩谷体育館の改修について、昨年市長が町内会座談会にいらした時に特に申し上げた時にも「学校が終わったらすぐやる。」とのお話でした。
26 年までに実施される事業のようだがいかがか。
- 小助川教育学習課長 岩谷体育館の床と屋根の改修を 23 年と 24 年に計画しております。
屋外運動場施設は、B & G プール、テニスコートフェンス、B & G の塗装等を 22 年から 25 年までの間に計画しています。以上です。
- 会 長 分かりました。
- E 委 員 26 年までに計画されている事業は必ず実施される事業なのか伺いたい。
27 年以降に先送りされた事業は、このあと優先的に行われる事業なのか、それとも、見直しによりやらないような事業もあるのか伺います。
- 大庭企画調整課長 これについては全体に関するルールですのでご説明いたします。
26 年度までの事業は、ほぼこの通り実施可能であると考えます。
今後、より緊急性の高い事業が出てきた場合は、この枠内で、見直しは可能です。今後の 6 カ年の事業は、各総合支所で必要性・優先性をかなり厳しく精査してきておりますので、(計画通り) できらるうと考えております。
次期事業費について。次の総合発展計画の作成時期では、実施事業としてのひとつの目途であると考えている。合併後 10 年経過し、次の 10 年の事業としての必要性は検討しなければならない。いずれ、今回の見直し作業のルールとしては、次期計画の目安と考えています。
- E 委 員 今後の計画はかなりの我慢をしいられる、やるべき事もやれないことが多いと感じている。次期計画ではどれぐらいの事ができるのか、皆の要望に答えることができるのか見通しを伺いたい。

大庭企画調整課長	27 年度以降の見通しについて、正直、皆目見当がつかない。経済情勢や国の政策等さまざまな要因によると思われる。 ただ、言えることは、地方にとって合併後のこの 4 年で、思ったよりかなり厳しさが増してきているということです。
F 委 員	お願いですが、決まったことかもしれませんが、先送りされた事業でも、特に危険箇所、通学路、橋などには十分な管理をしていただき、絶対事故等が無いようにしていただきたい。
大庭企画調整課長	先ほどの説明にありました様に、そのような対応のために余裕を見た部分もありますので、危険箇所への対応は十分に行っていきたいと考えております。
G 委 員	市道松本長坂葛岡線流雪溝設置事業について伺いたい。
佐藤建設課長	この事業は次期計画とさせていただきました。というのは、私も現地を確認いたし、また今回この地区には下水道工事が入ります。その際、雨水排水処理のためにある程度の区間に流雪溝タイプの側溝を入れる予定でした。 ですが、(それを) 使用するためには流末、川にたどり着くまでの側溝の整備も必要であり、大規模な事業費となることが想定されます。 従いまして下水道工事等との関連や施設の整備、及び事業費等を考慮しまして次期計画にさせていただきましたのでご理解をお願いします。
G 委 員	場所は葛岡町内会のところか。
佐藤建設課長	はい、町妻橋より長坂町内会よりです。
G 委 員	了解しました。
会 長	ほかにご意見ご質問ありませんか。 (なし)
会 長	なければ、次の案件に移ります。ご説明願います。
大庭企画調整課長	担当課としてご説明いたします。 (「さくら 100 景」作製の経緯と「グランドデザイン」の基本的な考え方及び資料による概要説明) 詳しくは、大内総合支所から説明願います。

事 務 局	大内総合支所の関係部分を説明します。 (「さくら 100 景」資料により変更点、地域協議会で出た意見による改善点、追加した説明項目、今回が完成版であること等を説明) (「グランドデザイン (案)」資料により、大内関連部分の説明) 皆様のご協力なくして実施は困難であります。皆様からのご意見をお願いします。
会 長	さくら満開のまちづくりについての説明がありました。 ご意見をお願いします。
D 委 員	先日、桜づつみを歩く機会があり、その時いろいろな話が出ました。非常にいい桜もありますが、補植が必要な所も相当あります。約 200 本は補植が必要との話でした。そこで (芋川を楽しむ) 会として 300 万円の予算要求した結果、150 万円の予算がついたそうです。ただし (桜づつみだけにではなく) 由利本荘市全体の桜の予算だそうだ、との話も出ました。いずれ補植には相当のお金が掛ります。また、補植場所によっては土壌改良を要するところもあるようです。150 万円は桜づつみの予算なのかどうかを伺いたい。
大庭企画調整課長	予算については把握しておらず、確認した後で、次回のこの会ででもご回答いたします。 いずれ、今のお話のように色々な問題があることは十分承知しております。桜が市の花として今後の夢を託したまちづくりのためにご意見を伺いたい。
会 長	素晴らしいアイデアですが現実的には大変なことが多い。 (「芋川を楽しむ会」の活動についての話)
事 務 局	会長よろしいでしょうか。
会 長	事務局からどうぞ。
事 務 局	大内地域を代表する桜として「葛岡のかすみ桜」を選出しました。 所有者の E 委員からご意見ご感想を伺いたい。
会 長	E 委員お願いします。
E 委 員	大内地域の代表的な桜として掲載していただき大変光栄です。 (「かすみ桜」の現状、秋田県天然記念物としての維持管理についての説明)

今後も皆様からのご理解ご支援をお願いしたい。

先ほどから話が出ていますが、「さくら 100 景」に限らずどこのさくらも維持管理が大変だし重要です。ボランティアといっても限界があります。必要な予算の配慮をお願いしたい。

「グランドデザイン」について、由利本荘市の将来に向けた明るい話題、可能性を示したものと感じました。大庭課長から「夢」と言うお話があったが、夢ではなくするために実施に向けた計画ができればいいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

佐藤建設課長

先ほどのD委員のご質問の 150 万円の予算について、ご説明いたします。

「芋川さくらづつみ」の植替えのための予算であります。今回は、本荘地域から順次実施していきたいと考えておりますのでご理解をお願いします。

会 長

D委員、ご理解いただけましたか。

D 委 員

(了解)

会 長

ほかにございませんか。

(意見等なし)

会 長

無ければ以上で案件について終了いたします。その他について。

工藤振興課長

総合支所にある J A 窓口について、選挙ポスター掲示版の設置個所数の変更について、期日前投票所の時間等について、などのお知らせ事項

小助川教育学習課長

「学校環境を考える懇談会」開催のおしらせ。

会 長

その他のことで他にありませんか。

H 委 員

商工会組織からの委員としてお願いですが、地元から物を買って下さい。

(資料用紙について) これはどこから買っていますか？秋田県庁では東京から買っています。「安ければ(どこから買っても) 良い。」では困るんです。由利本荘市は、特に地元から買っている人が少ない。市でも地元企業から買うようにして下さい。高くてもいいです。よろしくお願いします。

工藤振興課長

紙類に限らず、市で調達するものは、なるべく市内、場合によってはそれぞれの地域内から調達してほしい、そういう事をお願い、ということでよろしいで

しょうか。

H 委 員 市では「予算がない。」といって、地元を使わないのはおかしいと思う。どうでしょう。

工藤振興課長 市内で調達できるものは大体市内で調達しているはずです。市内に無い物もある。

H 委 員 そうでもない。（地元から）買っている地域もあるが、そうでない地域もある。（実情は）分からないと思う。

工藤振興課長 佐々木理事の耳に留めておいてもらいたいと思います。

H 委 員 たとえば、（プロパン）ガスにしても、秋田の業者を使っているところもある。庄内の業者を使っているところもある。と言うことは市に税収が入らないということだ。そこまで気を使っていますか？ということです。

会 長 H委員は商工会組織の委員としての発言だった。我々のわからなかったこともあるようです。
ほかに、ありませんか。

（意見等なし）

会 長 無ければ、以上で第2回の協議を終了します。

午後4時10分 閉会